

事業の概要

平成26年度の事業のあらましは以下の通りです。

1. 在宅で高齢者を介護する家族の交流及び研修支援事業

当事業は、超高齢社会の進展に伴い重要性を増している在宅介護者の交流・研修を通じて日々の介護の癒しとレベルアップを図ることを目的としています。

平成26年度は、公益社団法人認知症の人と家族の会と連携し同会の28支部、対象者882名（認知症高齢者、医師・福祉関係者等含む）に総額768万円の助成を実施しました。（詳細は下表の通り）

助成した「(公社)認知症の人と家族の会」の支部一覧

支部	実施時期	参加者数	助成額
秋田	平成26年6月15日	20名	12万円
長野	〃 6月21日～22日	31名	30万円
長崎	〃 6月25日～26日	29名	29万円
岩手	〃 6月26日～27日	20名	20万円
茨城	〃 7月5日～6日	20名	20万円
福井	〃 7月5日～6日	22名	22万円
宮城	〃 7月6日～7日	33名	32万円
富山	〃 7月6日～7日	40名	38万円
京都	〃 7月6日～7日	29名	29万円
滋賀	〃 7月12日～13日	32名	30万円
広島	〃 7月17日～18日	24名	24万円
愛知	〃 8月24日～25日	36名	34万円
福島	〃 9月6日～7日	66名	57万円
栃木	〃 9月6日～7日	26名	26万円
奈良	〃 10月1日～2日	31名	28万円
山梨	〃 10月7日	41名	24万円
福岡	〃 10月8日	30名	18万円
岐阜	〃 10月18日～19日	32名	31万円
埼玉	〃 10月19日～20日	36名	34万円
岡山	〃 10月20日～21日	30名	29万円
大阪	〃 10月27日～28日	29名	28万円
大分	〃 11月14日	53名	28万円
兵庫	〃 11月17日～18日	26名	26万円
宮崎	〃 11月22日～23日	26名	26万円
千葉	〃 12月5日	35名	21万円
佐賀	〃 12月6日～7日	21名	21万円
鳥取	〃 12月7日～8日	42名	39万円
三重	〃 12月16日	22名	13万円
28支部	合計	882名	768万円

2. 介護福祉士養成のための奨学金の給貸与の事業

当事業は、介護分野における人材不足解消に貢献すべく、介護福祉士をめざす学生に奨学金を給与し、介護福祉人材の育成を図ることを目的としています。

平成26年度は、4月に2年制専修学校のうち指定25校に対し学生の推薦を依頼した結果、23名の推薦を受けました。

5月28日開催の選考委員会にて厳正な選考を行い10名の採用を決定しました。その後、退学者が2名発生したため、選考委員会の了承を得て2名の追加を行いました。また、2年生に退学者が1名発生したため、本年度の卒業生は9名となりました。本年度の奨学金の支給額合計は714万円となっています。

なお、本年度採用した奨学生の詳細及び本年3月に卒業した奨学生の進路状況は下表の通りです。

平成26年度採用奨学生（1年生）一覧

氏名	専修学校	都道府県
A（女性）	秋田福祉専門学校	秋田
B（女性）	東北医療福祉専門学校	福島
C（女性）	栃木介護福祉士専門学校	栃木
D（男性）	優和福祉専門学校	山梨
E（女性）	松本医療福祉専門学校	長野
F（男性）	金沢福祉専門学校	石川
G（女性）	日本福祉大学中央福祉専門学校	愛知
H（女性）	南海福祉専門学校	大阪
I（男性）	和歌山社会福祉専門学校	和歌山
J（男性）	旭川荘厚生専門学院	岡山

平成26年度卒業生進路一覧（平成27年3月末卒業）

氏名	専修学校	進路	分野
K（女性）	札幌社会福祉専門学校	社会福祉法人 北海道友愛福祉会	高齢者福祉
L（男性）	東北医療福祉専門学校	介護老人保健施設 啓寿園	高齢者福祉
M（女性）	仙台医療福祉専門学校	アサヒサンクリーン（株） 東北支店	高齢者福祉
N（女性）	栃木介護福祉士専門学校	社会福祉法人 蓬愛会	高齢者福祉
O（女性）	松山学園松山福祉専門学校	長谷川介護サービス（株） イリーゼまつど	高齢者福祉
P（女性）	日本福祉大学中央福祉専門学校	介護老人保健施設 ジョイフル名駅	高齢者福祉
Q（女性）	南海福祉専門学校	ベルライブディサービス センター	高齢者福祉

氏名	専修学校	進路	分野
R (女性)	旭川荘厚生専門学院	グループホーム 陽だまりの家とうはく	高齢者福祉
S (女性)	熊本YMCA学園	特別養護老人ホーム 菊香園	高齢者福祉

3. ジェロントロジー (老年学) 研究助成事業

当事業は、ジェロントロジー (老年学) の社会科学分野 (社会福祉学、心理学、社会学等) に関する研究に助成することにより、豊かな長寿社会の建設に貢献することを目的としています。

平成26年度は、4月から7月にかけて新規公募を実施し52件の応募がありました。

10月8日開催の選考委員会で選考の結果、下記の18件の採用を決定し、前期の助成金合計400万円を支給しました。

また、平成24年度に助成した研究の成果を取り纏め、10月に報告書冊子「ジェロントロジー研究報告 No.11」を発行、財団関係先、高齢者福祉に係る諸団体、学会、都道府県図書館等に寄贈しました。

平成26年度 ジェロントロジー研究助成対象者

(単位：万円)

	氏名	所属	研究テーマ	形態 助成金額
1	池内 朋子	桜美林大学 大学院	自然な会話において辛い出来事や体験が日常の出来事のように話される現象について、日本在住の若年者と高齢者を対象に検討する。	個人 44
2	今井 朋実	日本社会 事業大学 大学院	若年性認知症とその家族を対象としたテイラー・ヒス・ケアの暫定支援効果モデルの開発に関する研究	個人 38
3	内田 博之	城西大学 薬学部 医療栄養学科	わが国の高齢者死亡動向の性差－年齢、時代およびコホート効果の評価と将来予測－	共同 44
4	打江 かおり	関西学院大学 大学院 心理科学	写真投影法で映し出される心理的居場所感の生涯発達－縦断的・横断的検討の試み－	共同 44
5	大久保 智生	香川大学 教育学部	地域と連携した高齢者向け防犯教育プログラムの開発：高齢者が被害者及び加害者にならないための心理教育	共同 44
6	大庭 輝	大阪大学 大学院	介護職員の有能感向上に資する研修効果の検討－講義形式と事例検討形式による比較－	個人 50
7	小川 将	中央大学 大学院 文学研究科	地域在住高齢者を対象とした筆記表現法の適用可能性の検討	個人 28
8	辛島 順子	実践女子大学	セルフモニタリングを用いた高齢者の栄養状態維持・改善に関する研究	共同 45

	氏名	所属	研究テーマ	形態 助成金額
9	佐々木由美子	町立 中標津病院	服薬アセスメントシート作成による自己管理 能力評価の試みー高齢者の服薬管理 自立度を入院前後で低下させないた めにー	共同 45
10	佐藤美由紀	人間総合科学 大学 保健医療学部	高齢者の役割見直しによって創出さ れた地域活動10年間のプロセスと効 果：住民主体により活動が継続され ている理由と高齢者及び地域社会に 対する影響	共同 45
11	島田 千穂	東京都健康 長寿医療センター 研究所	日本の高齢患者はなぜ終末期医療の 希望を事前に伝達しないのか？ー医 療に対する自律性と家族との関係性 との関連分析ー	共同 50
12	志茂 聡	健康科学大学 作業療法学科	高齢農業従事者における労働負担と 健康に関する実態調査および新たな 健康支援策の検討	共同 45
13	田口 潤	日本社会事業 大学大学院	介護福祉士の現場での「経験」から 学習した「知識」「スキル」に関する研 究	個人 44
14	富澤 公子	立命館大学	健康長寿と幸福な老いの環境要因： 長寿地域「京丹後市」を事例とした 実証研究	共同 45
15	永田 祐	同志社大学 社会学部	インフォーマルな社会資源と連携した地域 包括ケアシステムの構築ー連携が生成する ロジックとシステムへの統合の課題に関す る研究ー	共同 50
16	宮國 康弘	千葉大学 予防医学センター	ソーシャル・キャピタルの介護予防効果に関す る研究ー地域レベルのソーシャル・キャピタル は、個人レベルの健康に関連があるの かー	共同 44
17	安元 佐織	大阪大学 大学院 人間 科学研究科	超高齢社会における世代間交流の意 味ー百寿者の子どもの語りから学ぶ 「年をとる」ことの意味の変容ー	共同 44
18	安永 正史	東京都健康 長寿医療センター 研究所	高齢者の文化系社会活動への参加が 心身の健康に及ぼす効果の検証	個人 50

4. ジェロントロジー（老年学）研究事業

当事業は、高齢者・高齢社会を取り巻く諸問題についての研究を通して豊かな長寿社会の発展に貢献することを目的としています。

平成26年度は、社会老年学研究所にて主に以下の研究等を行いました。

- ・香港大学、シンガポール大学との国際共同研究『街の歩きやすさと高齢者の健康』プロジェクトの調査を東京都練馬区と目黒区にて実施。
- ・後期高齢者健康長寿研究プロジェクトに参加し、70歳代調査実施(兵庫県、東京都)
- ・Springer 出版から書籍出版(2015年) “Successful Aging: Asian Perspectives” に章 “The Road to Successful Aging: Older Adults and Their Families in Japan”を共同執筆。

5. 公益財団法人損保ジャパン記念財団との合併の件

平成27年4月1日の公益財団法人損保ジャパン記念財団との合併につきましては、平成26年5月の理事会にて合併契約を承認の上、平成26年6月2日付けで合併契約書を締結、6月10日の評議員会にて合併契約の承認の決議をしました。

その後、8月7日付けで内閣府に「合併の届出」を行い、8月19日に内閣府により「合併の公示」がなされました。

また、平成27年1月20日には、官報ならびに当財団と公益財団法人損保ジャパン記念財団のホームページにそれぞれ「合併公告」を掲載しました。

6. 資産運用状況

財団の基本財産については、資産運用規程に則り、投資有価証券の継続保有および定期預金で運用を行いました。なお、財団が保有している債券は基本財産で、全て満期保有を目的としていますが、平成26年度に2件が満期償還を迎えました。資金運用規程に従い、安全性・確実性を考慮し、4件の国債を購入しました。詳細は以下のとおりです。

満期償還債券：

神奈川県公債(10年)第126回 額面1億円 (償還日 平成26年4月30日)

大阪府公債(10年)第266回 額面1億55百万円 (償還日 平成26年5月28日)

新規購入債券：

利付国債(10年)第333回 額面5千万円 (償還日平成36年3月20日) 3件

同 上 額面1億5百万円 (同 上) 1件

庶務の概要

1. 役員等に関する事項 (平成27年3月31日現在)

役員等の氏名は次の通り。(常勤者に「常勤」を表示。その他は非常勤)

職名	氏名	摘要
理事長 専務理事 常務理事(常勤) 理事 (常勤)	二宮 雅也 清水 勉 高野 茂 秋山 弘子 小林 光俊 冷水 豊 竹内 孝仁 長嶋 紀一 長谷川和夫 山口 浩	損害保険ジャパン日本興亜(株)代表取締役社長 元 日本興亜損害保険(株)取締役専務執行役員 公益財団法人日本興亜福祉財団常務理事 東京大学高齢社会総合研究所特任教授 (学) 敬心学園理事長 日本福祉大学大学院客員教授 国際医療福祉大学大学院教授 日本大学名誉教授 認知症介護研究・研修センター名誉東京センター長 公益財団法人日本興亜福祉財団理事
監事	小林 豊 黒田 尚	小林豊事務所 公認会計士 (株)日本政策金融公庫常勤監査役
評議員	石橋みゆき 塙 昌樹 岡澤 憲英 角川 与宇 柴田 博 清水 重夫 嶋田 行輝 直井 道子 橋本 和生 弘中 徹 藤川 久昭	築根クリニック副院長 損害保険ジャパン日本興亜(株)取締役常務執行役員 早稲田大学教授 元 日本興亜損害保険(株)代表取締役副社長執行役員 人間総合科学大学保健医療学部長 元 (株)資生堂代表取締役執行役員副社長 損害保険ジャパン日本興亜(株)CSR部長 桜美林大学大学院特任教授 元 日本興亜損害保険(株)代表取締役副社長執行役員 弘中総合法律事務所 弁護士 青山学院大学教授

職名	氏名	摘要
研究助成選考委員	今井 幸充 上野谷 加代子 冷水 豊 袖井 孝子 竹内 孝仁 長嶋 紀一 松村 孝雄	和光病院院長 同志社大学教授 日本福祉大学大学院客員教授 お茶の水女子大学名誉教授 国際医療福祉大学大学院教授 日本大学名誉教授 東海大学名誉教授
奨学生選考委員	上野谷 加代子 冷水 豊 竹内 孝仁 松村 孝雄 山口 保	同志社大学教授 日本福祉大学大学院客員教授 国際医療福祉大学大学院教授 東海大学名誉教授 日本介護福祉士養成施設協会常務理事
研究倫理審査委員	長嶋 紀一 秋山 弘子	日本大学名誉教授 東京大学高齢社会総合研究所特任教授

2. 職員に関する事項 (平成27年3月31日現在)

職務	氏名	着任日	備考
事務局長	山口 浩	平成23年4月1日	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向
事務局職員	長谷川 春恵	平成24年4月1日	損害保険ジャパン日本興亜(株)より出向

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会の開催

開催日	会議事項	結果
(理事会の決議があったものとみなされた日) 平成26年5月14日 第1回理事会	第1号議案：平成25年度事業報告及び同附属明細書承認の件 第2号議案：平成25年度計算書類及び同附属明細書承認の件 第3号議案：評議員候補者選出の件 第4号議案：理事・監事候補者選出の件 第5号議案：損保ジャパン記念財団との合併承認の件 第6号議案：定款変更の件 第7号議案：平成26年度定時評議員会召集の件	各議案とも、決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた。
平成26年6月10日 第2回理事会	第1号議案：代表理事・業務執行理事選定の件 第2号議案：理事長・専務理事選定の件 第3号議案：理事候補選出の件 第4号議案：臨時評議員会開催の件 報告事項1：業務執行状況の報告	全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員了承
(理事会の決議があったものとみなされた日) 平成26年6月19日 第3回理事会	第1号議案：理事の職務の変更	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた。
(理事会の決議があったものとみなされた日) 平成27年2月18日 第4回理事会	第1号議案：平成26年度臨時評議員会召集の件	決議に参加できる理事全員の同意が得られ、かつ監事の承認が得られた。
平成27年3月2日 第5回理事会	報告事項1：業務の執行状況の報告の件 報告事項2：合併後の新財団の概要の件	全員了承 全員了承

(2) 評議員会の開催

開催日	会議事項	結果
平成26年6月10日 定時評議員会	報告事項1：平成25年度事業報告の件 第1号議案：平成25年度計算書類承認の件 第2号議案：評議員選任の件 第3号議案：理事・監事選任の件 第4号議案：損保ジャパン記念財団との合併承認の件 第5号議案：定款変更の件	全員了承 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決 全員一致で承認可決
(評議員会の決議があったものとみなされた日) 平成26年6月12日 臨時評議員会	第1号議案：理事の選任の件	評議員全員の同意が得られた。
平成27年3月2日 臨時評議員会	報告事項1：業務の執行状況報告の件 報告事項2：合併後の新財団の概要の件	全員了承 全員了承

(3) 選考委員会の開催

開催日	委員会の内容
平成26年5月28日	奨学生選考委員会 ①2014年度奨学生の選考
平成26年10月8日	研究助成選考委員会 ①2014年度ジェロントロジー研究助成の選考

4. 許可・認可及び承認に関する事項

該当はありません。

5. 寄付金に関する事項

寄付者	寄付金額	備考
日本興亜損害保険株式会社	17,500千円	公益目的事業資金・管理費として
その他(個人)	1,245千円	公益目的事業資金として

6. 行政庁指示に関する事項

該当はありません。

7. その他重要事項

該当はありません。

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。